

# 平成29年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	数学	科目	数学B	学年	2
担当者	松原・山内・寺尾・佐々木・國井			単位数	2
使用教科書	数学B(数研出版)				
使用教材	4STEP数学Ⅱ+B(数研出版) チャート式基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)				
教科・科目の指導目標	ベクトルについての諸事項を理解し、これらを用いて平面図形、空間図形を計測することができるようになる。また数列、数学的帰納法に関する諸事項を理解し、数列に関する問題を解くことができるようになる。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5日 5月5日 5月	1学期 中間 考査	平面上のベクトル ベクトルの演算 ベクトルの成分 ベクトルの内積 位置ベクトル ベクトルと図形 問題演習	ベクトルとは何かを理解する。ベクトルの演算の図形的な意味を理解した上でこれらができるようになる。また内積を用いることで図形の計測ができるようになる。	12
6月5日 7月	1学期 期末 考査	平面上のベクトル ベクトル方程式 空間の座標・空間のベクトル ベクトルの成分・ベクトルの内積・位置ベクトル 問題演習	平面上の任意の点をベクトルを用いることによって表すことができることを理解し、計算によって様々な条件の位置をベクトルで表すことができるようになる。さらにこれまでに学習したベクトルの性質を用いて図形の計測ができるようになる。ベクトルの性質を用いて空間図形の計測ができるようになる。	12
7月5日	2学期 中間 考査	ベクトルと図形 数列 等差数列とその和 問題演習	代表的な数列の一般項、数列の和についてを学習し、これらの計算ができるようになる。	14
10月	2学期 期末 考査	等比数列とその和 和の記号 $\Sigma$ 階差数列 いろいろな数列の和 漸化式と数列 問題演習	代表的な数列の一般項、数列の和についてを学習し、これらの計算ができるようになる。漸化式から数列の一般項を求めることができるようになる	14
12月5日 3月	学年 末 考査	数学的帰納法 問題演習 問題演習 問題演習 問題演習	数学的帰納法を用いて証明問題を解答することができるようになる。	18

評価の観点・方法	考査や提出物等
----------	---------